

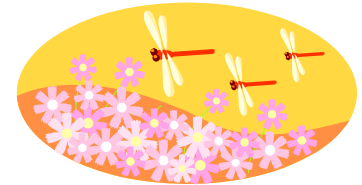
平成24年9月3日（月）発行 【隔月（年6回）発行】

発行部署 : ソリューション営業本部ソリューション営業部
住所 : 東京都港区芝大門一丁目1番30号
電話番号 : 03-5408-4620
発行責任者 : 白土 雄二郎
お問合せ窓口 : 古田 泰幸

第101号

〔目次〕

1. 小集団活動全社発表会
2. 先進安全自動車(ASV)について
3. 長距離運行体制の今後について
4. 省エネ計画支援システムの構築と導入
5. 菱化ロジテック社 ～関東支店紹介～
6. 日本ものづくりワールド 参加レポート
7. インターフェックスジャパン展 参加レポート



1. 小集団活動全社発表会

7月13日に、当社の四国支社において小集団活動全社大会を開催しました。1982年度にスタートした本活動も第28回を数え、今回は全社109グループの中から選ばれた7グループに加え、当社の海外拠点の一つであるインドネシアからPT. DIA LOGISTICS INDONESIAのグループも迎えて発表会を行いました。

発表テーマは、①川崎油槽所:可塑剤ローリー充填量の精度向上、②鹿島支社:ビスフェノールA包装作業場の安全性向上と5S活動、③九州支社:女子力 アップ!! 私たちの力で出来ること、④PT.DIA LOGISTICS INDONESIA:Improvement Activities、⑤中日本営業部:職場及び営業部員全体のパフォーマンス向上、⑥中部支社:製品工程能力指数改善、⑦中国支社:廃ロープ廃タイヤを活用したフェンダーの作成、⑧四国支社:高水分炭荷役作業の改善、と多岐にわたりました。



石川社長(前列中央)を囲んで

各グループいずれ劣らぬ内容でしたが、当日、3グループ(九州支社、中国支社、四国支社)を優秀グループとして選出し、その中から最優秀グループは四国支社の「7 fall Stand up 8」に決定しました。最優秀グループは11月に予定されている「三菱化学グループ小集団活動発表会」に当社代表として出場します。

最後に、石川社長から「小さな改善を積み上げることによって、改革につながります。明るく楽しく改善をして、自分達の向上につなげていきましょう。」との総評がありました。

2. 先進安全自動車(ASV)について

先進安全自動車(Advanced Safety Vehicle、略称ASV)とは、先進技術を利用してドライバーの安全運転を支援するシステムを搭載した自動車です。国土交通省自動車交通局を事務局として大学・自動車メーカー・関係省庁をメンバーに加えた「先進安全自動車推進検討委員会」が中心となって1991年より推進しています。運転者の負担を軽くして安全性を高めた自動車であり、全自動ということではありません。

実用化された事例として、衝突被害軽減ブレーキ
(正式名称:前方障害物衝突被害軽減制動制御装置)があります。

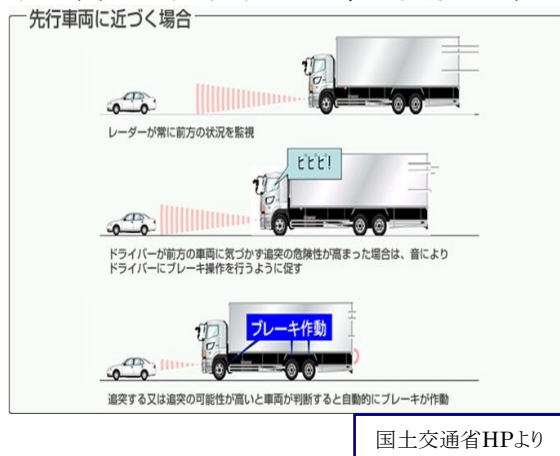
これは、レーダー等で前方障害物を検知し、障害物に衝突するおそれがある場合に運転者へ回避操作を行うよう警報し、さらに障害物との衝突が避けきれないと判断した場合には、障害物との衝突による被害を軽減するため自動的にブレーキ制御を行います。

特に大型トラックの事故の55%は追突事故であり、これによる死亡事故率は、乗用車に比べ約12倍高いという事故分析結果があります。

衝突被害軽減ブレーキを装備し、衝突速度を20km/h下げることにより、被追突車両の乗員の死亡件数を約9割減らすことが可能と推計されています。

その他の主な実用化事例として下記が挙げられます。

- ◆レーンキープアシスト(正式名称:車線維持支援装置)
- ◆ふらつき警報
- ◆全車速ACC(正式名称:全車速域定速走行・車間距離制御装置) 等々



3. 長距離運行体制の今後について

本年4月29日、関越自動車道において高速ツアーバスとして運行していた貸切バスが起こした痛ましい事故は、皆様の記憶に新しいところと思います。

これを受けまして、過労運転防止に係る緊急対策として、バス乗務員の運転時間等の基準・指針等の見直しが行われるなど、安全規制の強化が行われることとなりました。

具体的には、

- ①拘束時間が16時間を超える場合
- ②運転時間が2日を平均して1日9時間を超える場合
- ③連続運転時間が4時間を超える場合

といった従来からの基準に加え、本年7月20日より、

- ④午前2時から4時の間に夜間運行を行う場合、その一運行の実車距離が400kmを超える場合
(特別な安全措置を実施し、内容を公表している場合は、実車距離が500kmを超える場合)
- ⑤夜間運行において、運転者の1日の乗務時間が10時間を超える場合

についても、交代運転者の配置が必要となりました。

一方、トラック乗務員については、「自動車運転者の労働時間等の改善のための基準」(平成元年2月9日労働省告示第7号)で、

- ①拘束時間が16時間を超えないこと
- ②運転時間が2日を平均して1日9時間を超えないこと
- ③連続運転時間が4時間を超えないこと

を遵守することとされておりますが、トラックの夜間運行に対しても、バスと同様の基準が適用された場合、輸送リードタイムや輸送料金に大きな影響を与えることは必至です。

トラックを含む自動車運送事業全般についても、安全規制強化等の対策が波及すると考えられている中、今後の動向が注目されています。

4. 省エネ計画支援システムの構築と導入

「エネルギーの使用の合理化に関する法律(いわゆる“改正省エネ法”)(2006年4月施行)に伴い当社では、2006年に省エネ報告システムを開発、さらに2012年4月には省エネ計画支援システムを開発しました。このシステムは、輸送一件毎に、燃料使用量や燃料原単位、さらには輸送条件、納入条件、製品の特性、輸送コストを把握することができ、輸送が非効率な部分や、改善の余地のある部分を、荷主や発地、納入先、発地域、着地域毎などさまざまな切り口から見つけ出しEXCELやCSVファイルへ出力、計画立案やさまざまな資料作成に役立てることができる戦略ツールです。

さらに、計画立案だけでなく、効率化推進を行なった結果、輸送手段や原単位、輸送コストがどのように変化したかを可視化できる『実績解析表』の出力機能を持っており、計画通り効率化が行われたかどうかを確認することができます。

開発を担ったソリューション営業部および安全QA環境部、陸運RC推進部が6月から7月にかけて開催した、本社および国内の各支社やエリア営業部でのシステム導入説明会では、いかにデータを活用し、効率化に結びつけたらよいかの活発な議論や質疑応答が交わされ、現在、効率化立案業務に活用されています。

当社の省エネ推進は、ハードウェアによる輸送の効率化だけでなく、荷主や納入先、協力会社と一体となり総力的な対応が必要な段階へとステップアップして参りました。これからも荷主と協力し、低エネルギー社会の実現に邁進いたします。

The screenshot shows a software interface for requesting energy-saving data. It includes fields for '会社' (Company), '場所' (Location), '取引先' (Customer), '発地' (Origin), '着地' (Destination), '輸送' (Transportation), '計算' (Calculation), '製品' (Product), and '協力' (Collaboration). Below the form is a table with columns for '企業コード', '企業名称', '場所', '協力会社', '協力会社名', '代表品名', '原単位区分', '作業年月日', '輸送量', '受取NET', '作業年月日', '輸送量', and '受取NET'. The table contains multiple rows of data for various companies and dates.

5. 菱化ロジテック社 ～関東支店紹介～

菱化ロジテック社関東支店は、当社の首都圏物流センター内に事務所を構え、同場所にある加須営業所の他茅ヶ崎営業所、上田営業所、直江津営業所の4営業所を管轄し、当社の関東甲信越の拠点における販売物流を一手に担っています。

業務内容は、トラック輸送・ローリー輸送の他、加須営業所では倉庫荷役作業も行なっており、「関東甲信越の都市物流の要」として日夜頑張っています。

加須営業所では、都市部も含め関東の配送エリアを樹脂製品を主貨物として日に150t前後の輸送と300t前後の入出庫倉庫荷役を実施。茅ヶ崎営業所では凝集液のローリー輸送及び小型コンテナ輸送を実施。上田営業所ではアルミポリ合板や樹脂パレットの輸送を実施。直江津営業所ではアルミ製品や感光ドラム製品の輸送を実施しています。

関東支店概要

2012年8月20日現在

| 営業所 | 所在地 | 業務内容 | 従業員数 | 車両保有数 | FLT保有台数 |
|--------|----------|---------------------|------|-------|---------|
| 関東支店 | 埼玉県加須市 | | 2 | 0 | 0 |
| 加須営業所 | 埼玉県加須市 | トラック、ローリー輸送 倉庫荷役 | 34 | 31 | 22 |
| 茅ヶ崎営業所 | 神奈川県茅ヶ崎市 | トラック、ローリー輸送 | 7 | 7 | 0 |
| 上田営業所 | 長野県上田市 | トラック輸送 | 10 | 9 | 0 |
| 直江津営業所 | 新潟県上越市 | トラック輸送 | 8 | 5 | 0 |
| 合計 | | | 61 | 52 | 22 |

6. 日本ものづくりワールド 参加レポート

2012年6月20日～22日の3日間、東京ビックサイトにて『日本ものづくりワールド 2012』が開催されました。この催しは「第23回設計・製造ソリューション展」「第16回機械要素技術展」「第20回3D&バーチャルリアリティ展」「第3回医療機器 開発・製造展」の4つが同時に開催され、「省エネ・CO2削減ゾーン」「SCM・ERP・生産管理システムゾーン」等に分かれ、過去最多の1,824社が出展し、来場者も75,015名を数える活気ある展示会となっております。

展示会の名称からは一見物流とは関係ないように見えますが、当社が導入している作業解析ソフトや3Dシミュレーションソフトも出展されているなど、業界の枠を超えて活用できそうな技術・ソフトが多数ありました。

今回の展示会で興味を持ったものは、モーションキャプチャーや3Dメガネを用いて、バーチャルでありながら非常にリアルに作業を再現できる技術です。我々は包装作業や積み付け作業などをどうすれば、ロス・ムダのない動きにできるかを検討します。しかし、機器の配置を簡単には変えられないので、実際にテストできないという悩みがありますが、この技術を使えば、現実とほとんど同じ検証ができると感じました。

このような展示会に参加すると、技術の進歩の速さに驚かされます。当社が現在持っている解析手法と新たな技術を組み合わせることで、さらなるスキルアップを期待させる内容でした。

7. インターフェックスジャパン展 参加レポート

先日、6月25日～27日まで3日間、東京国際展示場(ビックサイト)で開催された、第26回インターフェックス・ジャパン(医薬・化粧品・洗剤 研究開発・製造技術国際展)に参加してきました。

本展示会は医薬・化粧品・洗剤を製造・研究開発するためのあらゆる機器・システム・技術が一堂に出展する世界有数の専門技術展で、今年は、過去最多891社が出展、来場者も昨年比13%増の33,038名が参加したそうです。

医薬・化粧品とも、グローバル化が進展する中で、特に東南アジアからの来場者が増えているとのことで、会場内も様々な国の言葉が飛び交っており盛況でした。

この展示会場の一部に物流・搬送ゾーンと称する区画が設けられており、医薬・化粧品を扱う物流・搬送機器メーカーなどから約40社程出展されていました。

医薬・化粧品は、製品の特徴や薬事法などの法規制もあり、特殊な物流品質が求められることが少なくありません。その結果、これらの分野向けの物流機器・搬送機器、サービスなどは独自の発達を遂げていることが多く、直ちに他分野へ応用できそうなものはそれほど多くない印象を受けました。しかしながらその中でも定温輸送用の容器など、他用途に転用できそうなものもいくつか見つけたので、今後お客様のご要望に応じて都度ご紹介していきたいと思っております。



ソリューション営業部 佃 孝典

はじめまして。タイから帰任してきました佃と申します。今回よりLIFE TIMESの編集長に任命されました。今後とも宜しくお願いします。さて今年オリンピックYearです。皆さん応援で寝不足だったのでは。私は、スポーツを見るのも好きですが、自らプレーする方が大好きで、サーフィン、水泳、サッカー、野球、卓球、昆虫採集などで汗を流しています。現在ハマっているのが、早朝ランニングで、妻と娘も一緒に付合ってくれます。二日酔いの日は辛いですが、朝から体を動かすと脳が活性化されるような気がします。皆さんもオリンピックを機会にスポーツで汗を流してはいかがでしょうか。